

福祉実践教室—11月28日

毎年外部講師をお招きして福祉実践教室を実施しています。3年生はガイドヘルプ、4年生は車いす体験、5年生は手話、6年生は点字に取り組みました。どの学年も真剣な表情で、話を聞いたり、活動したりしました。福祉の「ふ」はふだんの「ふ」、福祉の「く」はくらしの「く」、福祉の「し」は幸せの「し」という話も印象的でした。



3年 女子

わたしは、ふくしじっせん教室で目のふじゆうな人のきもちになって、アイマスクをしてかいだんをおりて、外のしばふを一周しました。アイマスクをしただけで、とてもこわくて、友だちにたすけてもらいながらじゃないと、あるけませんでした。これからは、わたしもだれかをたすけられるようになりたいです。



4年 女子

初めて車いすの体験をしました。私は、短い時間しか車いすに乗っていなかったのに、とても大変でした。そう思うと、いつも車いすに乗って生活している人が、とても苦労していることが分かります。もしこれから、車いすに乗っている人が困っていたら助けたいです。



5年 男子

ぼくは、11月28日（火）に福祉実践教室で手話の勉強をしました。耳が聞こえない人にたいしては、手話で言葉をはなしました。聞こえない人は、何も音が聞こえなくて、道を歩いている時に、うしろから車がきても音が聞こえないので、日常生活でもあぶないことがいっぱいあるんだなあと思いました。



6年 男子

ぼくは、点字が読めません。だから今回の福祉実践教室を楽しみにしていました。今回教えてもらった点字は、よそう以上に、読むことも点字を作ることも、大変だということがわかりました。これまでに点字を覚えた人は、すごいと思いました。

